

# PowerPlatformを使用したシステム内製化 事例

 FUNREPEAT  
<https://funrepeat.com/>

# 目次

1. 弊社紹介
2. DX・内製化のメリット
3. DX・内製化の課題
4. PowerPlatformを使用した業務改善事例
5. ローコードとアジャイル開発
6. まとめ

# 弊社紹介

# 会社概要

会社名	株式会社ファンリピート
代表取締役	竹村 貴也
創業	2019年6月3日
所在地	東京都千代田区神田三崎町2丁目1-4-5 WORK&HOUSE 水道橋 4F
事業内容	システム開発のコンサルティング/開発支援事業
お問い合わせ	<a href="mailto:contact@funrepeat.com">contact@funrepeat.com</a>
ホームページ	<a href="https://funrepeat.com/">https://funrepeat.com/</a>

# Mission

## プログラムの力でお客様の課題を解決し続ける

私たちは、ミッションとして「**プログラムの力でお客様の課題を解決し続ける**」を掲げており、このミッションにて、最高のプログラムを開発し続け、地球上で最もお客様に貢献できる企業になりたいと考えています。

当社が考える「**プログラム**」は、プログラミングで作られるシステムのみならず、顧客満足度を最大化させるためのサービスの構成要素を意味します。

顧客の満足度は、我々が提供するサービスの水準によって決まります。サービスを構成する各要素をモジュールとして捉え、各モジュールのプログラムを改善し続けることで、**顧客満足度の最大化を目指します。**

# 事業内容

DXコンサルティング・サービス  
「DX START」の運営



弊社はローコードツールを使用した高速開発・低コストのプロジェクト推進を得意としております。

ノーコード・ローコード特化型開発  
「BOLT (ボルト)」の運営



PoC(概念実証)について学べる  
「PoC入門.com」の運営



# DX・内製化のメリット

# DXとは？

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、企業がデジタル技術を利用して**業務プロセス、製品、サービスを変革し、ビジネスモデルを革新**することを指します。

これにより、企業は**効率化**を図り、顧客体験を**向上**させ、新しい市場や**ビジネスチャンス**を創出することが可能になります。



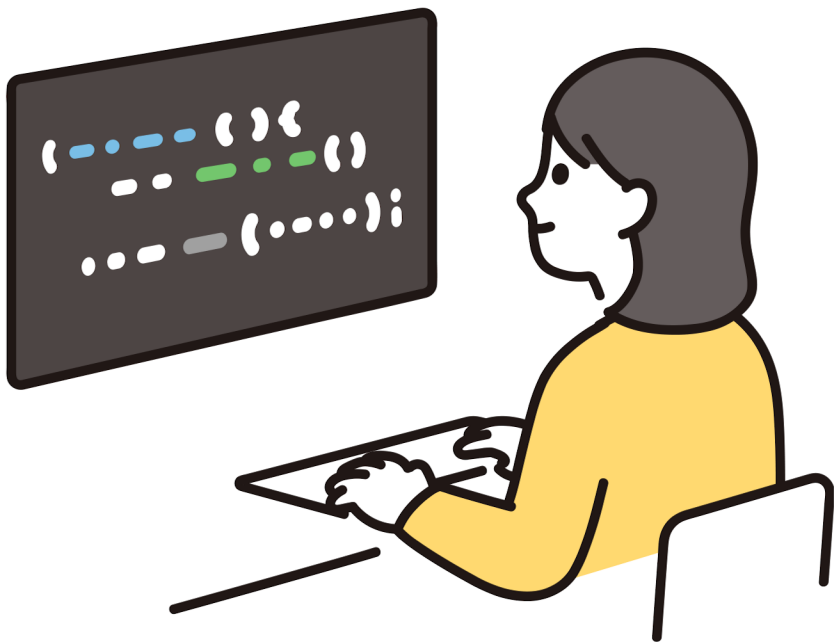


# 内製化とは？

内製化とは、

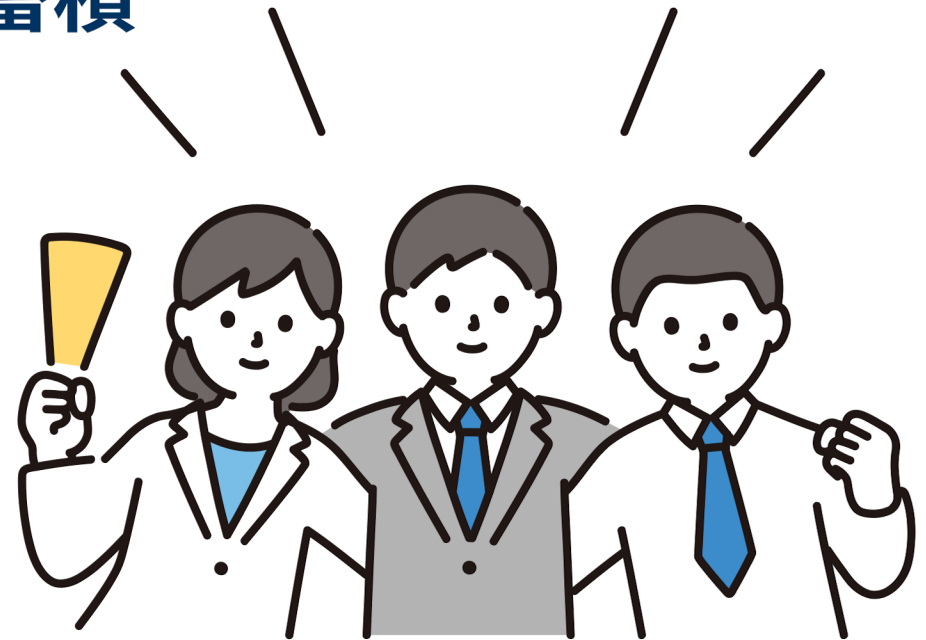
企業が外部のサービスプロバイダーやベンダーに依存せず、**自社内で必要な技術やサービスを開発・運用**することを指します。

これにより、企業は**コスト削減、品質管理、独自性の確保**などの利点を享受できます。



# 内製化のメリット

- ① 自社のニーズに合わせたカスタマイズ
- ② セキュリティとプライバシーの強化
- ③ スキルとノウハウの蓄積
- ④ コストの削減
- ⑤ 柔軟な対応



# DX・内製化の際にぶつかる壁

# DX・内製化の際にぶつかる壁

①コストとROI（投資収益率）

②組織文化と変化への抵抗

③プロジェクト管理

④リソースの不足

## ①コストとROI（投資収益率）

### 初期投資:

DX化と内製化には大きな初期投資が必要です。新しい技術の導入、人材の採用や教育、プロセスの再設計など、多くの**コストがかかります**。

### ROIの不確実性:

投資した資金がいつ、どの程度のリターンをもたらすかは不確実です。特に**短期間でのROIを期待すると失望する可能性があります**。

## ②組織文化と変化への抵抗

### 変化への抵抗:

従業員や経営層が新しい技術やプロセスの導入に抵抗を示すことがあります。特に、既存の業務プロセスが大きく変わる場合、**不安や抵抗を感じる**ことがあります。

### 組織文化の変革:

DX化と内製化を成功させるためには、イノベーションを奨励し、失敗を許容する文化が必要です。これは**時間がかかる**プロセスです。

## ③プロジェクト管理

### プロジェクトの複雑性:

「レガシーシステム」の複雑性や老朽化も相まって、DX化と内製化のプロジェクトの正確な要件の洗い出し、適切なプロジェクト管理が求められます。

### 期待値と実際のギャップ:

プロジェクトの期待値と実際の成果にギャップが生じることがあります。これにより、ステークホルダーのサポートを失うリスクがあります。

## ④ リソースの不足

### 限られたリソース:

内製化には初期投資が必要であり、また運用コストもかかります。限られた予算とリソースの中で、どのプロジェクトに**優先順位**をつけるかは**難しい判断**が求められます。

### 外注と内製:

もし自社が十分なITスキルを有しており、効率的な開発体制が整っているならば、内製の方がコスト効率が良いでしょう。しかし、ITスキルが**社内に不足**している、または必要な**人材が足りていない**場合は、システム開発を外部に委託する方がより効率的な選択肢となります。

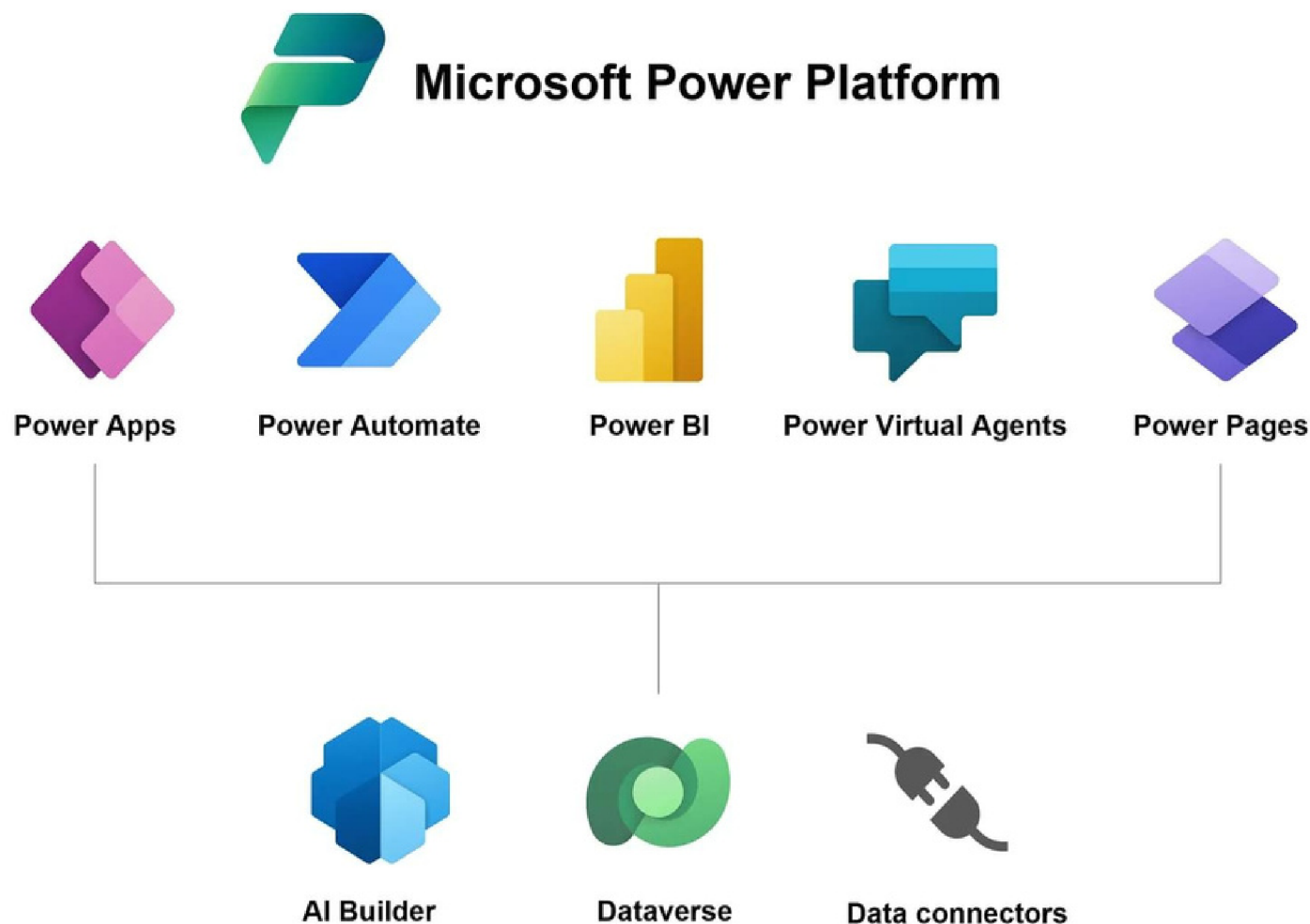
**この選択がDX・内製化成功の鍵を握ります**



# PowerPlatformを使用した内製化の事例

# PowerPlatformとは

Microsoftが提供する統合型のビジネスアプリケーション開発プラットフォームです



## PowerPlatformを使用した内製化の事例①

株式会社A様（小売）

関東地区統括マネージャー Y様

### 課題

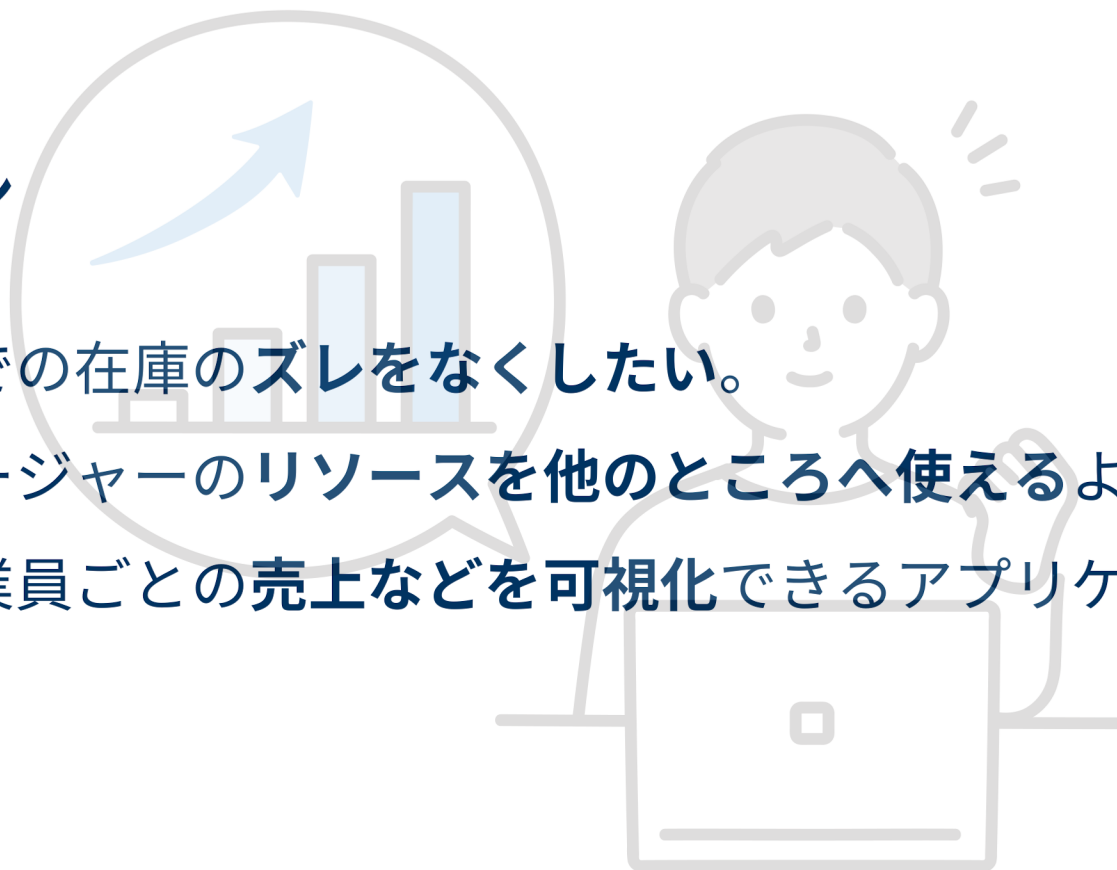
店舗の在庫管理をExcelで管理しており、入荷処理と1日の売上との差分を確認しながら在庫数の変更をおこなっている。

- ・ 月末の棚卸で膨大な時間がかかっている。
- ・ 管理するExcelと実際の売上の差分のズレが多い。
- ・ 各店舗のExcelのデータから抜き出し地区ごとの実績算出をしているが集計作業に多大な時間がかかっている。

## PowerPlatformを使用した内製化の事例②

### 導入後のビジョン

- ・ 人的ミス起因での在庫のズレをなくしたい。
- ・ 各店長、マネージャーのリソースを他のところへ使えるようにしたい。
- ・ 将来的には従業員ごとの売上などを可視化できるアプリケーションで正当に評価したい



# PowerPlatformを使用した内製化の事例③

## 支援の流れ

- ①Power Appsで**入庫・在庫の登録**ができるアプリの作成
- ②Power Apps・Power Automateで**発注**アプリの作成、**POSシステムと紐付け在庫管理の自動化**
- ③Power BIを使用し、**ダッシュボード**アプリの開発

# ①Power Appsで入庫・在庫の登録ができるアプリの作成

## アクション



**弊社**：入荷アプリの開発、要件定義

**クライアント**：商品マスタの作成、業務フローの見直し、現場からの意見の吸い上げ、アカウント準備

## 期待できること

- ・商品の**入庫・在庫管理のみ**行えるアプリを作成し、システム導入の**実現可能性**を測る。
- ・導入の**効果**、フィードバックから**システムの改修**を行い**質の高いシステム開発**が可能。

## ②Power Apps・Power Automateで発注アプリの作成、POSシステムと紐付け在庫管理の自動化

### アクション



**弊社：**入発注アプリの開発、Power Appsを使用しPOSシステムとの連携機能作成

**クライアント：**社内でのセキュリティ関連、テスト用データの準備、作業マニュアルの作成

### 期待できること

①で実現可用性を十分に検証した上で、**売上データとも紐付け在庫管理を自動化。**

**在庫管理・棚卸時の煩雑な作業の効率化、集計作業の自動化**

## ③Power BIを使用し、ダッシュボードアプリの開発

### アクション

弊社：ダッシュボードアプリの開発

クライアント：マスタデータの準備



### 期待できること

- 各期間ごとの**売上、来客数**などの情報にすぐ**アクセス**でき販促のアクションやマーケティング施策にも繋がる。
- 詳細な**データを把握**できることで**各従業員**の公正な**評価**が行える。



## なぜPower Platformを使用したのか

- ①クライアント内で**Microsoft365**を社内基盤として使用の背景があり、**既存のシステムとの親和性**が高かった。
- ②ランニングコストもその他ツールに比べると**安価で継続運用**にも向いる。
- ③今回のような実現可能性から検証を行う手法では短いスパンでの検証・開発が適しており**開発期間を大幅に短縮**できる  
「Power Platform」が最適解だった。



# ローコードxアジャイル開発

# アジャイル開発手法とは①

ソフトウェア開発において**変更**に柔軟に対応し、**顧客とのコラボレーション**を重視する**アプローチ**です。この手法は、従来の**ウォーターフォールモデル**のように、プロジェクトの初期段階で全ての要件を詳細に決定するのではなく、**小さな単位で機能を開発し、継続的にテストとフィードバック**を行いながら**進めていく**特徴があります。

アジャイル開発手法は、**変化が激しい現代のソフトウェア開発環境**において、**柔軟かつ効率的にプロジェクトを進めるための有効なアプローチ**とされています。

# アジャイル開発手法とは②

## 主な特徴と原則

- **反復的かつ漸進的:** 小さな機能単位で開発を進め、定期的にリリースを行います。これにより、**開発途中**でも顧客の**フィードバック**を受け取り、**製品を改善**していくことができます。
- **顧客とのコラボレーション:** 顧客と密接に協力し、彼らの要求とフィードバックを**直接受け入れる**ことを重視します。
- **変更への対応:** 要件が変わることを前提とし、**変更**に柔軟に対応することを重視します。
- **自己組織化されたチーム:** チームメンバーが自主的にタスクを管理し、**責任を持って作業を進めます**。
- **継続的な改善:** プロセスや製品の**品質**を継続的に評価し、**改善**を行います。

# ローコードxアジャイル開発

ローコードとアジャイル開発を組み合わせることにより、  
以下のようなシナジーを創出することができます。

- ① 迅速なプロトタイピング
- ② 変更への迅速な対応
- ③ リソースの効率的な利用
- ④ 顧客との継続的なコラボレーション



# スクラッチ開発・パッケージ商品との比較

	スクラッチ開発	パッケージ商品	ローコード開発
	例：Java x ウォーターフォール	例：業務系SaaS	例：ローコード x アジャイル
特徴	オーダーメイドのオリジナルシステムの開発ができる	すぐに使い始めることができるがカスタマイズ性x	低予算でオリジナルシステムの開発が行える
納期	1年～	すぐに使える	3ヶ月～
コスト	高額	ランニングコストが高額	低額

# まとめ

# ローコード開発は弊社へ

弊社はローコードツールを使用したシステム開発の**実績が多数**あります。

弊社ミッション「プログラムの力でお客様の課題を解決しつづける」の通り

「企画・提案力」 x 「高速開発力」 x 「検証力」

を用いて、

クライアントの**プロジェクト成功まで支援**を行います。



新規事業の検証フェーズ、大規模システム導入前の効果測定フェーズにて、大きな力になってくれる企業がファンリピートさんだと感じます。

株式会社Belong(伊藤忠商事グループ)  
取締役副社長 COO  
清水 剛志 様 Shimizu  
Tsuyoshi



常に顧客目線に立った提案をしていただけるファンリピートさんは、安心して仕事を任せられる企業だと思えます。

株式会社MST  
代表取締役  
養代 雄一 様 Minoshiro  
Yuichi



高品質なアウトプットを高速で出していただけのファンリピートさんは、あらゆる面で信頼できるパートナー企業だと感じます。

ユニテッド株式会社  
Vice President  
岡部 健二 様 Okabe Kenji



# ローコード × アジャイル開発

で高速かつ高品質なプロジェクト支援を実現します。



**bubble (バブル)**

ドラッグ&ドロップの操作でWebアプリを開発できるツール  
デザインの自由度も高く高度な機能のアプリ開発が可能



**Microsoft Power Apps**

プログラミング無しで簡単にビジネスアプリケーションを作成できるローコードツール



**Google AppSheet**

スプレッドシートのデータを使って、ビジネスアプリを迅速に作成できるローコードツール

# プロジェクト支援の流れ



## PoCの実施

3~6ヶ月程度

### お客様のアイデアを 検証します

新規プロジェクトのアイデアを具現化し、その実現可能性を検証します。ノーコード・ローコード開発の活用と、弊社がこれまで支援した過去のプロジェクトの知見を組み合わせ、効率的かつきちんと成果の出るPoCを実施します。



## MVPの構築

1~2年程度

### 最小の予算で 最大の効果を狙います

基本的な機能だけを持った製品（MVP:Minimum Viable Product）を開発します。PoCで得た有効性や費用対効果をもとにローコード・ノーコードツール開発で初版の製品を作り上げ、ユーザーの反応を見ながら機能追加・改善していきます。



## 継続的な改善・ 機能追加の支援

通年

### 成果を出してから プロジェクトを継続させます

システムの運用開始後も、継続的な改善・機能追加を支援します。システムの完成ではなくプロジェクトの成功がゴールであり、ゴールに向けて一緒に伴走します。

ご相談内容等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。  
 「課題が定まっていない」「とりあえず話を聞いてみたい」場合でも問題ございません。



DXに取り組みたい方  
 PoCについて知りたい方へ



ノーコード開発について知りたい方  
 費用を抑えて開発を行いたい方  
 短期間で開発を行いたい方へ

**まずは相談してみる**